

第3章

「財政見通し」と 決算見込額との 比較分析

1 計画額と決算見込額との比較

(単位：百万円)

歳入（一般財源）	2020年度（令和2年度）			計画額と決算見込額との比較分析
	計画額	決算見込額	差引	
	90,602	102,470	11,868	
市税	67,719	69,257	1,538	徴収率の向上などにより、計画額を上回りました。
譲与税・交付金等	14,430	14,023	△ 407	主に地方消費税交付金が制度改正の影響に伴い減少したことにより、計画額を下回りました。
基金繰入金	3,500	4,126	626	主に財政調整基金繰入金が増加したことにより、計画額を上回りました。
その他	4,953	15,064	10,111	前年度繰越金が見込みを上回ったほか、臨時財政対策債なども計画額を上回りました。

(単位：百万円)

歳出（一般財源）	2020年度（令和2年度）			計画額と決算見込額との比較分析
	計画額	決算見込額	差引	
	91,617	98,305	6,688	
義務的経費	41,059	40,923	△ 136	
人件費	20,093	20,555	462	人件費は、退職手当は計画額を下回る一方で、会計年度任用職員制度の開始に伴い、会計年度任用職員人件費が計画額を上回り、人件費総額として計画額を上回りました。
正規職員	17,340	17,379	39	
うち退職手当 （定年退職者分）	672	475	△ 197	
嘱託員・臨時職員 （会計年度任用職員）	2,753	3,176	423	
扶助費	14,152	12,737	△ 1,415	生活保護費、児童福祉費、社会福祉費などが計画額を下回りました。
公債費	6,814	7,631	817	将来の公債費を平準化するため、償還期間などを短縮して借入を行い、元金償還額が増加したことで計画額を上回りました。
その他の経費	50,558	57,382	6,824	
繰出金等	19,075	16,342	△ 2,733	国民健康保険事業会計、介護保険事業会計、下水道事業会計、後期高齢者医療事業会計への繰出金が計画額を下回りました。2020年度から新たに鶴川駅南土地区画整理事業会計を追加しました。
事業費	31,483	41,040	9,557	
経常事業費	23,557	31,999	8,442	財政調整基金への積立金や、幼児教育・保育無償化に伴う民間保育所等運営支援などの取り組みにより計画額を上回りました。
政策的事業費	5,659	7,001	1,342	熱回収施設等整備事業など大規模事業に加え、小中学校体育館空調設備設置事業などのその他政策事業が増加したことに伴い、一般財源ベースで計画額を上回りました。
1 将来を担う人が育つまちをつくる		1,183		小中学校における教育情報化の推進、町田第一中学校や、子どもクラブの整備などを行いました。
2 安心して生活できるまちをつくる		771		がん予防対策として各種がん検診等の実施、障がい者の相談支援、玉川学園コミュニティセンターの運営整備などを行いました。
3 賑わいのあるまちをつくる		1,484		野津田公園、温浴施設の整備や、シティプロモーション、南町田拠点創出まちづくりプロジェクトなどの取り組みを行いました。
4 暮らしやすいまちをつくる		1,337		循環型施設の整備、道路の整備、鶴川駅北口広場の整備などを行いました。
5 行政経営改革プラン		122		図書館やひかり療育園のあり方の検討や公共施設等マネジメントに関する取り組みや、事務事業の見直しなどを行いました。
6 公共施設維持保全事業		549		小中学校の校舎・設備改修などの公共施設の長寿命化工事、橋梁改修工事などを行いました。
7 その他		1,555		小中学校体育館への空調設備の設置、多摩都市モノレール基金への積立、英語教育の推進などの取り組みを行いました。
システム経費	2,267	2,040	△ 227	システム経費は計画額を下回りました。
歳入－歳出 （＝収支差額）	△ 1,015	4,165	5,180	

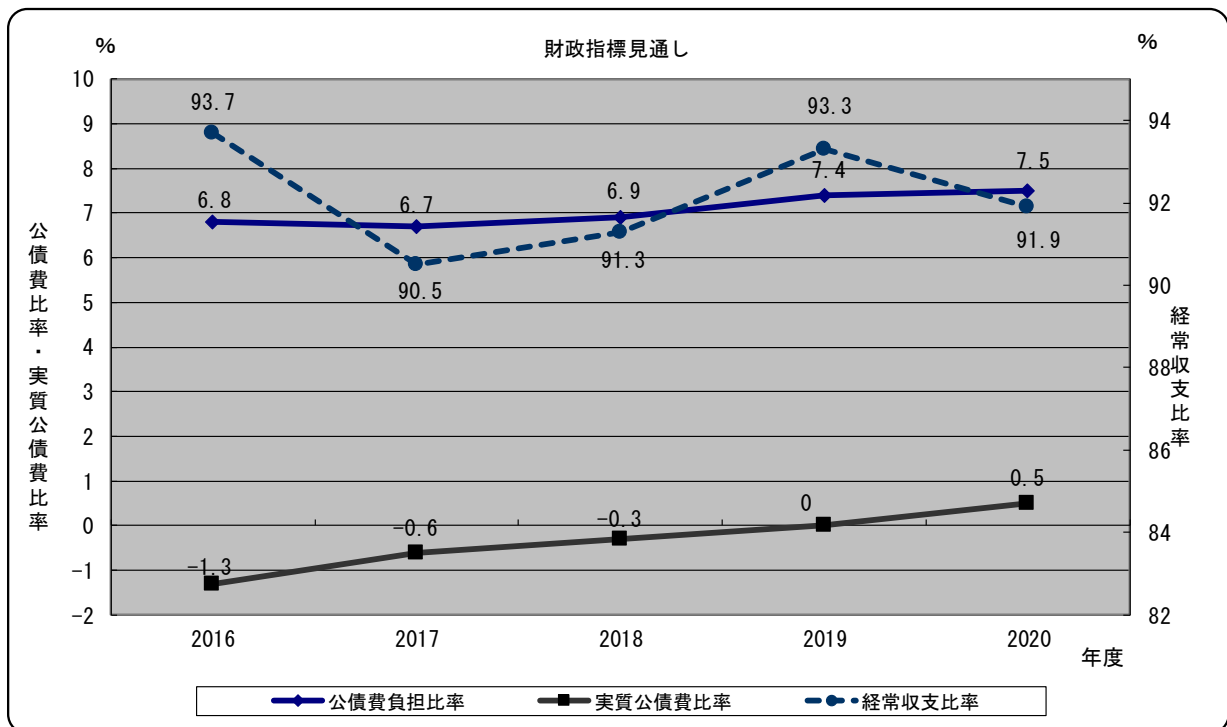
2 2020年度（令和2年度） 財政指標

各財政指標は、暫定値です。

	2020年度（令和2年度）			計画数値と決算見込数値との比較分析
	計画数値	決算見込数値	差引	
経常収支比率（％）	92.9	91.9	△ 1.0	分母に算入される地方消費税交付金の増額などにより、計画数値から1.0ポイント改善となりました。
公債費負担比率（％）	7.4	7.5	0.1	分子に算入される公債費の増額により計画数値を0.1ポイント上回りました。
実質公債費比率（％）	0.2	0.5	0.3	公営企業（病院、下水道）を含む市全体の実質公債費比率は、適正範囲内です。
財政調整基金 年度末残高（億円）	75	(※) 90	15	年度内の財源調整などの理由により、計画数値を上回りました。

(※) 財政調整基金の年度末残高は、2021年(令和3年)5月31日現在のものです。

- ◆経常収支比率…… 市税などの経常的な収入（分母）が、人件費や扶助費などの経常的支出（分子）にどの程度充てられているかを表す指標。この数値が高いと、自由に使える金額が少ないことを意味します。
- ◆公債費負担比率…… 公債費（市債の償還に要する経費）が市の財政に占める割合。この比率が高いと、借金の割合が高いことを意味します。
- ◆実質公債費比率…… 一般会計だけでなく、市民病院や下水道などの公営企業会計を含んで算出した市全体の公債費比率のこと。この数値が25%以上になると、「財政健全化計画」の策定が義務付けられます。
- ◆財政調整基金…… 大幅な税収増や決算剰余金が生じた場合に積み立て、財源不足が生じた場合取り崩すことにより、年度間の財源を調整し健全な財政運営を図ることを目的とした基金（積立金）です。



町田市5ヵ年計画17-21 2020年度の取り組み結果

2021年8月発行

発 行 者 町田市
〒194-8520
町田市森野2-2-22
042-722-3111
編 集 政策経営部経営改革室
刊行物番号 21-22